

南アルプスカーボンクレジットの創出

～カーボンクレジット購入（相殺）で、ネイチャーポジティブ企業へ変容する～



悪沢岳（3141m）岩稜からの富士山



十山株式会社
総務部 中屋敏明





30by30



十山株式会社

- 2020年 4月 特種東海製紙(株)の山林管理部門を分社化
ウイスキーと観光の両輪で事業推進
- 2020年11月 井川蒸溜所でウイスキー製造開始
- 2023年10月 自然共生サイト認定
- 2024年 8月 いきもの共生事業所企業林版トライアル認証
(ABINC認証)
- 2024年11月 井川蒸溜所ウイスキー初リリース



Dessin Series
Flora
Flora & Fauna of the Alps
2024

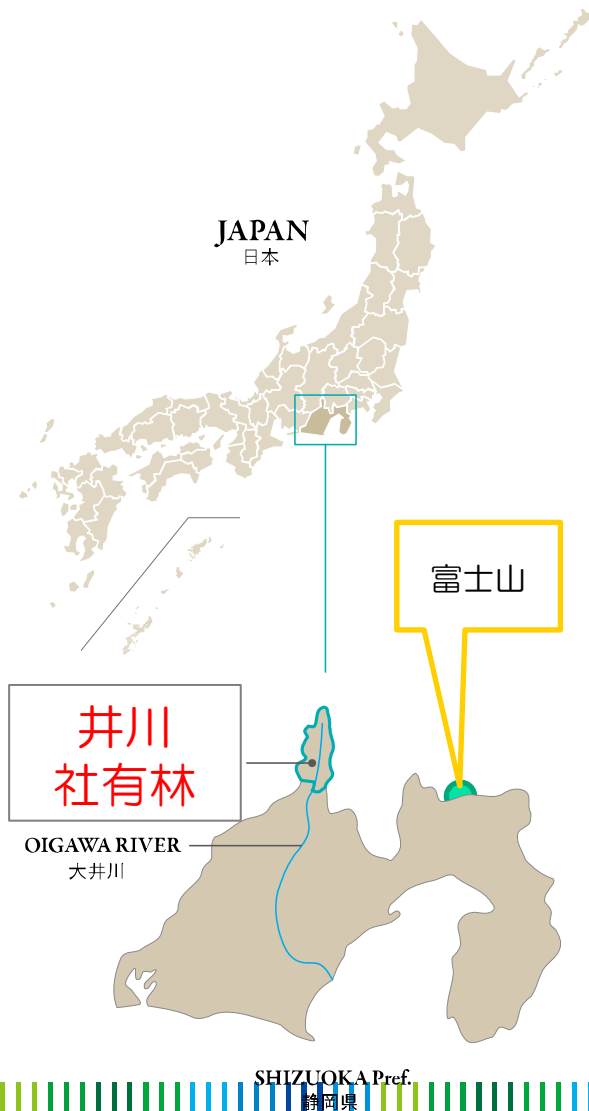


井川社有林の位置図

“南アルプス” 南部一帯

■日本は主要国の中で二番目の森林率を誇る国

その中で、井川社有林は日本が保有する森林面積の1/1000を占める





十山株式会社 会社概要

設立	： 2020年4月1日
住所	： 静岡県静岡市葵区田代1301番地の1
代表	： 代表取締役社長 鈴木康平
従業員	： 12名 (内7名がウイスキー事業) ※全員が親会社からの出向
資本金	： 9,000万円
基本理念	： 「自然を守り、自然を活かす」
ミッション	： 「自然を楽しみ、自然を守る人を育む」
活動方針	： 「Sharing the Alps」
主な資産	： 南アルプス 井川社有林
主な事業	： ウイスキー事業と観光事業
株主	： 特種東海製紙(株) (100%出資)

特種東海製紙株式会社

■2010年 特種東海ホールディングス(株)による2社吸収合併

特種製紙株式会社（1926年創業）

⇒工業用特殊紙・ファンシーペーパー



東海パルプ株式会社（1907年創業）

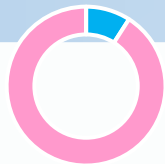
⇒産業用紙（段原紙、クラフト紙）・家庭紙・特殊紙・静岡県を中心に山林を所有



企業理念

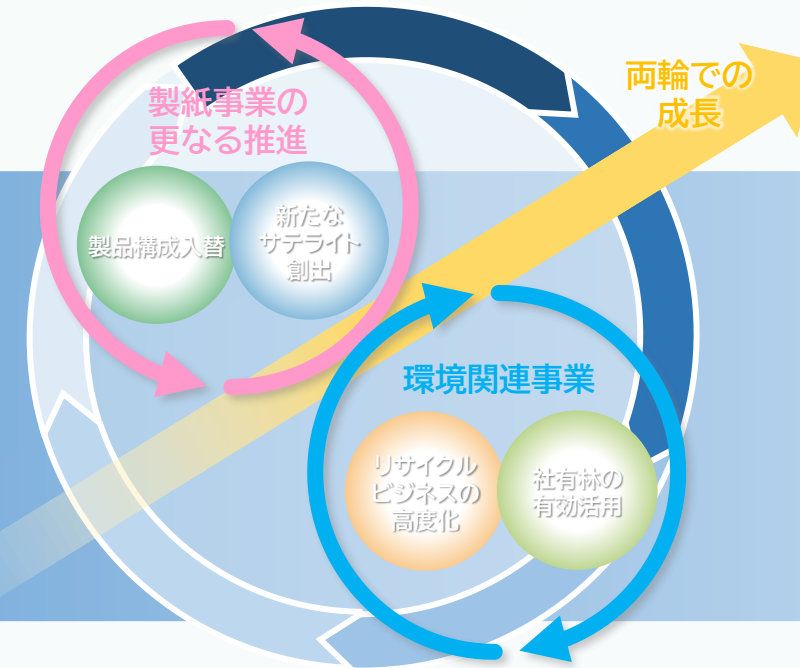
ユニークで存在感のある企業集団として、
社会と環境に貢献する

現状の事業ポートフォリオ



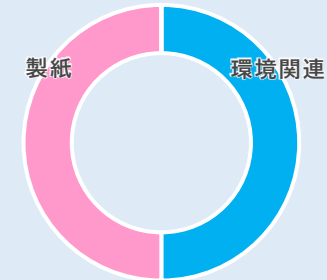
目指すべき企業像

技術と信頼で
顧客と共に未来をひらく
オンリーワンビジネス企業



長期目標

将来の事業ポートフォリオ



社会への提供価値

地球環境との共生

- 脱炭素への貢献
- 自然資本の価値提供
- 資源の有効利用
- 脱プラへの貢献
- 細やかな製品対応、サービス提供

地域・社会との共生

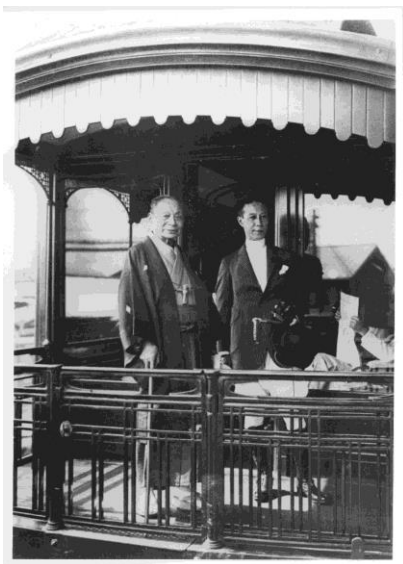
- 文化興隆への支援
- 安全と健康
- 多様な人財の活躍
- 生産性の向上

十山(株)のルーツ（東海パルプ株式会社）

創業者 大倉喜八郎（井川山林2万5千町歩を5万円で取得）

大倉喜八郎は、大成建設、リーガル、ニッピ、東京経済大学、帝国ホテル等
約200社の設立に関わる

大倉財閥2代目総帥 大倉喜七郎はホテルオークラを設立



大倉喜八郎と大倉喜七郎



大倉喜八郎 88歳で赤石岳3120m に登頂

十山 井川社有林

- ◆井川社有林は静岡県の最北端24,430ha
 - ・・・企業が持つ1団地としては国内最大面積
- ◆『南アルプスカーボンクレジット』は2024年3月12日に登録
(1,500 t・CO₂/年)
- ◆クレジット面積に占める天然生林の割合が約93%
- ◆クレジット収益は、井川社有林の保護・保全に加え、生物多様性や更なる吸収量拡大に活用予定

目次

1. 森林管理プロジェクト

名称「森林保全による南アルプス自然環境保護プロジェクト」

別称「南アルプスカーボンクレジット」

2. 南アルプスカーボンクレジット創出までの歴史

3. 企業理念＜自然を守り、自然を活かす＞の実現

森林活用ビジネスの創出（木材生産以外の新たな活用）

4. 森林の保護・保全の取組がCO2排出量相殺につながる

企業の宿命：自然生態系の損失を止め回復軌道に乗せること

（ネイチャーポジティブ）

5. 2025年1月から1,500 t・CO2/年を販売予定

広大な天然生林（保安林）の保護・保全に資する高付加価値クレジット

1. 森林管理プロジェクト

名称「森林保全による南アルプス自然環境保護プロジェクト」

「南アルプスカーボンクレジット」

＜概要＞

天然生林を中心に森林の多面的機能を維持し環境保全を行なうことで安定的なCO2吸収を促し、カーボンニュートラル実現に貢献する。

1. 森林管理プロジェクト

プロジェクト登録に必要な林野庁の制度「森林経営計画」

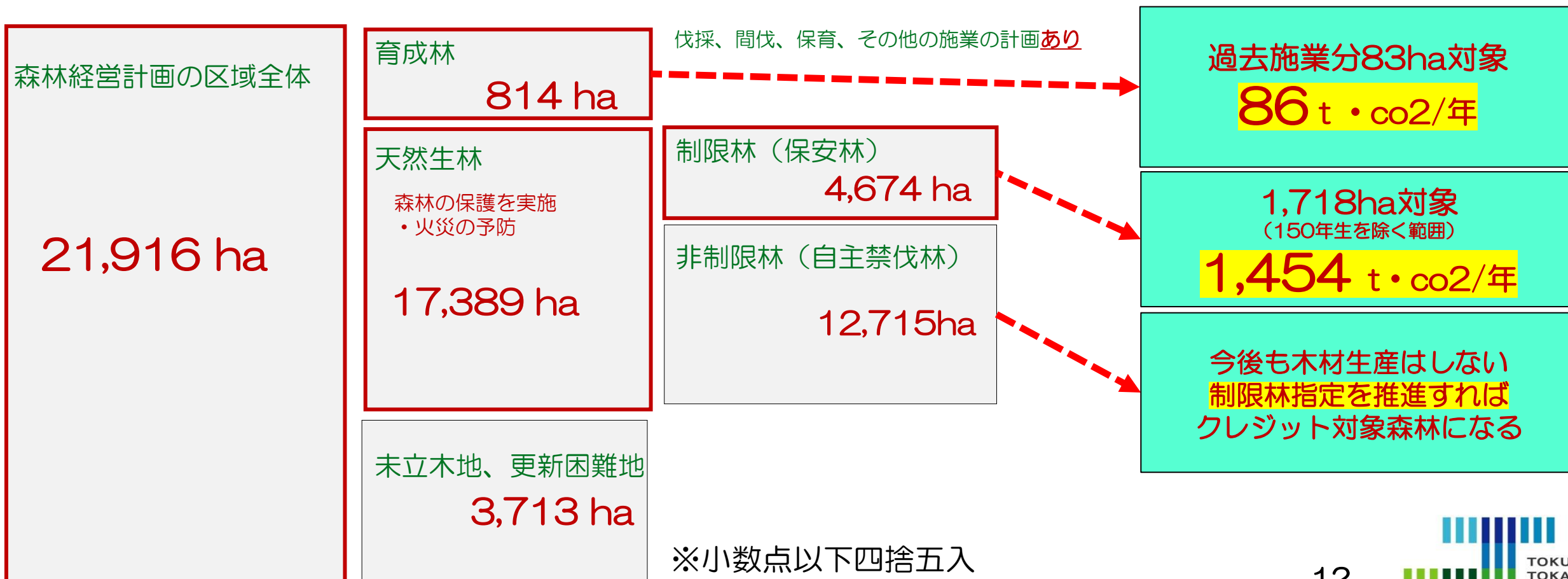
井川社有林における森林経営計画基本方針（2016年11月16日制定）

1. 森林の多面的機能を高度に発揮しうる森林経営
水土保全・健康休養機能の増進
外来樹種の排除と天然更新（本来の自然林へ）
2. 目標とする森林の姿とそれに向けた森林施業及び保護
基本理念『自然を守り、自然を活かす』
自然環境の保護・保全を最優先に山岳景観や森林生態系などの有効活用を図る

1. 森林管理プロジェクト

十山 井川社有林の森林経営概要

クレジット対象



2. カーボンクレジット創出までの歴史

井川社有林 自然環境関連の歴史

- 1895年 創業者 大倉喜八郎が「井川山林を取得」し木材生産を開始
- 1907年 東海紙料株式会社設立（大井川に於いて水力発電所2基を保有、動力源とする）
- 1964年 厚生省国立公園指定（特別保護区2,354ha、第1種保護区537ha）
- 1970年代 奥地山岳林であること、輸入材の台頭などにより木材生産は競争力を失う
静岡県保安林指定（水源涵養・保険保安6,511ha、土砂流出防備1,231ha）
- 1982年 大型台風（57台風）により林道が壊滅的ダメージを受け、木材生産を休止
- 2011年 リニア中央新幹線が井川社有林直下を通過することが決定
- 2014年 井川社有林山林一帯が「南アルプスユネスコエコパーク」に登録
- 2017年 歴史・現状を踏まえ、井川社有林の大自然を後世に残すことを大前提に、リニア工事による影響を極限まで抑えるための指標として「井川社有林基本計画」を策定し、
基本理念「自然を守り、自然を活かす」を定めた
- 2020年 自然を活かす取組を強力に推進するため静岡市に本籍を置く「十山株式会社」を設立
井川社有林内の井川蒸溜所にて「ウイスキーの製造」を開始
- 2023年 井川社有林のほぼ全域が環境省「自然共生サイト」に認定
- 2024年 「南アルプスカーボンクレジット創出」1,500t・CO2/年
いきもの共生事業所企業林版トライアル認証（ABINC認証）

2. カーボンクレジット創出までの歴史

十山（井川社有林）の現状

～林業以外の収入源を模索～

- リニア関連工事（林道改良工事等）の影響により一時的に観光事業は縮小傾向
- 自然共生サイト登録、アクティビティ開発など、山林の価値向上につながる活動を進めているが・・・
- ウイスキー事業を支える新たな収益源を創出したい

3. 企業理念＜自然を守り、自然を活かす＞の実現 森林活用ビジネスの創出（木材生産以外の新たな活用）

企業理念「自然を守り、自然を活かす」を実現する
新たな事業を模索

カーボンクレジット制度（J-クレジット）に
「天然生林の吸収量算定対象への追加」（令和4年8月）

井川社有林の80%が天然生林であるため調査を開始
算定対象は施業が制限される森林（保安林）に限ることから、
森林に手を加えなくても創出可能

貴重な天然生林が伐採なしにクレジットを創出できる

3. 企業理念＜自然を守り、自然を活かす＞の実現 森林活用ビジネスの創出（木材生産以外の新たな活用）

J-クレジットは温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国が「クレジット」として認証する制度でクレジット分を排出量と相殺することができる。

日本は、2021年4月、2030年度において温室効果ガス46%削減（2013年度比）を目指すことさらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しており企業にはこの目標を達成するための施策が求められる

3. 企業理念＜自然を守り、自然を活かす＞の実現 森林活用ビジネスの創出（木材生産以外の新たな活用）

施業が制限される制限林（保安林）

井川社有林の80%が天然生林で、
この内の約30%にあたる4,600haが保安林

＜井川山林は、水源涵養保安林（保健保安林含む）と土砂流出防備保安林が該当＞

＜保安林定義＞森林法に基づき、一定の公益目的のために農林水産大臣が指定する森林。
水源の涵養、土砂流出の防備、風水害の防備、魚付き、風致保存などの目的による。

3. 企業理念＜自然を守り、自然を活かす＞の実現 森林活用ビジネスの創出（木材生産以外の新たな活用）

～十山の強み～

井川社有林の間ノ岳（大井川の最初の1滴）から
約30km下流地点までの**一帯を所有・管理**している

※谷底（河川区域除く）から3,000m峰の頂上に至るまでの面積24,430haを所有
（大井川全長168km）

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する ネイチャーポジティブ：自然生態系の損失を止め回復軌道に乗せること ～生物多様性や自然を蔑にする企業は淘汰される時代に～

国立公園指定、保安林指定、
南アルプスユネスコエコパーク登録、
自然共生サイト認定、ABINC認証などの取組は、
井川社有林の**大自然を後世につなぐ**ための手段

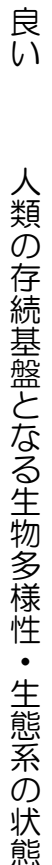
利用は自主的に制限しています

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する
ネイチャーポジティブ：自然生態系の損失を止め回復軌道に乗せること
～生物多様性や自然を蔑にする企業は淘汰される時代に～

1987年以降、ありのままの自然の遷移を見守っていましたが

地球規模の環境問題が叫ばれている今

何もしないことが果たして正なのか？



資金の活用

- ・井川山林材の樽
- ・モルト粕の飼料化
- ・倒木の再生（リユース）
- ・アロマ精油
- ・薪ボイラの稼働
- ・持続可能な林業
- ・CO2フリー電気の利用
- ・等々

井川山林保安林の維持管理
と拡大を図る

自然保護だけでは 事態は好転せず

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する
ネイチャーポジティブ：自然生態系の損失を止め回復軌道に乗せること
～生物多様性や自然を蔑にする企業は淘汰される時代に～

何もしないと事態は後退するばかりです。

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

静銀経営コンサルティング株式会社様との協業による創出

協業先として選んだ理由

- ・ 弊社の思い（取組）に共感いただいた
- ・ 大井川流域を中心に県内企業に強み

創出に際しましては、
関東経済産業局様、静岡県森林計画課様、日本製紙株式会社様をはじめ、
多くの皆様にご尽力をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

南アルプスカーボンクレジットの購入で達成できること

自社のCO2排出量を相殺できることに加えて、
ユネスコエコパーク・自然共生サイトの
保護・保全・活用を強力に推進する
ネイチャーポジティブ企業として
認知される

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

南アルプスカーボנקレジットの購入で達成できること

「自然を守り、自然を活かす」企業の取組として
井川山林を利用していただきたい

- SDGsの教育フィールドとして
- 森林浴や森林セラピー、〇〇体験など

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

南アルプスカーボנקレジットの購入で達成できること

南アルプスカーボנקレジットの購入を
社内にも積極的にアピールしてください
森とのつながりを社員の皆さんに理解していただくことが
(社員研修や福利厚生に利用)

健康経営や社員のウェルビーイングなど

(弊社はエンゲージメント調査にて高ストレス者＝ゼロ、高エンゲージメント者＝全員)

人的資本への投資として
企業の発展につながります！

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

「ネイチャーポジティブ」達成に向けて
皆さんが**楽しみながら取り組める**仕組みを
ご用意します

4. 森林の保護・保全の取組でCO2排出量を相殺する

自社独自の**アクティビティ創出**
「自然を守り、自然を活かす」取組で、井川山林を**ご利用ください**



宿泊施設 二軒小屋ロッヂ



二軒小屋ロッヂ新館



研修施設
榎島ロッヂ 白簾史朗写真館

5. 1,500 t・CO2/年を販売予定
広大な天然生林の保護・保全に資する高付加価値クレジット

ヒトは、自然からの恩恵を自然環境へお返しする使命があります！

南アルプスカーボンクレジットは
その第1弾としてスタートします！

5. 1,500 t・CO2/年を販売予定

広大な天然生林の保護・保全に資する高付加価値クレジット

大井川から駿河湾に至るまでの

生物を守る（ヒトを含む）

水量・清らかさを保持（水源涵養保安林）

※役割はその一翼を担っている程度とお考えください（大自然の影響は計り知れないです）

5. 1,500 t・CO2/年を販売予定

広大な天然生林の保護・保全に資する高付加価値クレジット

南アルプス南限の希少な野生動植物を守る
ユネスコエコパーク・自然共生サイト・いきもの共生事業所 登録

生物多様性の保全

※役割はその一翼を担っている程度とお考えください（大自然の影響は計り知れないです）

5. 1,500 t・CO2/年を販売予定

広大な天然生林の保護・保全に資する高付加価値クレジット

土砂の崩壊、流出を防止しダムなどの保全対象を守る
治水、流水の正常な機能維持（利水・発電）
（土砂流出防備保安林）

※役割はその一翼を担っている程度とお考えください（大自然の影響は計り知れないです）

5. 1,500 t・CO2/年を販売予定

広大な天然生林の保護・保全に資する高付加価値クレジット

井川社有林の**景観**と
訪れる**お客様の安全を守る**
登山道・管理道の巡視と維持・整備（保健保安林）

※役割はその一翼を担っている程度とお考えください（大自然の影響は計り知れないです）

まとめ

自然資本を回復させるための投資



南アルプスカーボנקレジットの購入



自社のカーボンニュートラルを達成



ネイチャーポジティブ企業の称号を得る

A person stands on a rocky mountain peak, arms raised in a gesture of triumph or joy. They are wearing a dark shirt and pants, and a backpack is visible. The foreground is filled with dense green vegetation, some of which has turned a light brown color. In the background, a vast range of mountains stretches across the horizon under a clear blue sky. The mountains in the distance are hazy, while the ones closer are more detailed, showing ridges and valleys covered in forest.

ご清聴ありがとうございました